

第5回第五次長期総合計画策定市民会議市民環境部会会議録

- 1 日 時 平成22年2月12日（金） 13：30～16：50
- 2 場 所 消防庁舎3階会議室
- 3 出席者
 - 委 員 ○部会長 真鍋昌裕 ○副部会長 続木明美
 - 伊藤秀紀 ○片山智雄 ○神岡敦子 ○田中恭子
 - 野村佳代子 ○深川孝利 ○三浦稲男 ○宮前港（敬称略）
 - 事務局 ○専門部会長 加藤哲 ○専門部会副部会長 河野勉
 - 推進員 曾我忠、工藤順、毛利弘、藤田佳夫、石井一成、
本田陸治、岡素子、直野純一、岡田公央
 - まちづくり担当 曾我部みさ
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 事
 - (1) 部会長挨拶
 - (2) 6つの施策のまとめシートについて意見交換
 - (3) 次回の日程

事務局	<p style="text-align: center;">＜今後のスケジュール説明＞</p> <p>この専門部会で『施策まとめシート』を今月（2月）中に完成していただく必要があります。</p> <p style="text-align: center;">＜まとめ方（例）の説明＞</p> <p>今回作成する『施策まとめシート』の全項目（現況と課題、取り組み方針、基本計画、協働のための取組、活動指標と成果指標など）が、A4：2ページに納まるように製本されるので、イメージしながらシートの完成をお願いします。</p>
部会長	<p style="text-align: center;">（1）部会長挨拶開会挨拶</p> <p>2月末までに作成完了しなければならないようで、本日、出来るだけ全てのシートを協議したいと思います。ご協力をお願いします。</p> <p>『施策まとめシート』は計6枚あり、それぞれシート毎に、事務局からの説明後、意見交換・確認をお願いします。</p>

	<p>(2) 6つの施策のまとめシートについて意見交換</p> <p>【1. 生活環境の保全と公衆衛生の向上】について (説 明)</p>
事務局	
部会長	「現状と課題」に関し、第4次長期総合計画との相違は？
事務局	新しい項目が増えており、相当異なっている。
委員	基本計画の「新斎場施設建替事業」とは、新しく作るのか？
事務局	施設を休むことが出来ないため、新しい施設を同じ敷地の中に作ってから、古い施設を取り壊す予定です。
委員	現状と課題の中に、「光化学オキシダントに関しては、全国的に環境基準を達成できていない。」とあるが、原因は解明できないのか？
事務局	風で流れてくることも考えられるし、工場密集に起因することもあるし、全国的に未解明です。
委員	黄砂と関係があるのではないか？
事務局	特定はできず、未解明です。
部会長	協働のまちづくりの取り組みの中で、市民に対しての記述が、市民を信用していない様に感じられるが、信用できないのか？
事務局	適正に維持管理していない世帯も少なくないと思われます。市では、適正な維持管理の実態は把握できませんが、県が現在、調査中との事です。(県の所管となっている。)
部会長	成果指標の中の合併処理浄化槽による水洗化率の9.5%とは、何の数字？

事務局	全人口に対する、合併処理浄化槽で処理している人口の率です。補助金交付世帯だけでなく、浄化槽を設置した全世帯の人数です。
部会長	合併処理浄化槽に対する国の動きは、最終結論がでているのか？
事務局	まだ、結論はでていません。
部会長	施策の取組方針Ⅰの記述の中の「公共下水道の整備と合併処理浄化槽の設置を」の記述の前に、『地域性を考慮して』という表現を付け加えてほしい。
委員	活動指標に合併処理浄化槽補助基数が掲げられているが、計画値をもっと大きい数値に出来ないのか？。 現在、何世帯が順番待ちをしているのか？
事務局	補助金については、国、県がそれぞれ1／3経費支出していることから、目標数値を算定している。順番は、それぞれ5人槽、7人槽などと希望が分かれており、順調に回っている。
委員	合併処理浄化槽に対する補助は、新築にはでないのか？ また、協働のまちづくりのための取組みの表現で、市民の欄について、もっと具体的な表現を要望します。
事務局	新築には補助はせず改築のみです。表現方法は検討します。
事務局	【2. 地球環境保全活動の推進】 について (説 明)
部会長	施策の取り組み方針の中の記述の「エネルギー管理企画推進者」とは？
事務局	省エネ法の改正によるものです。

委員	ニームスとは別ですか。
事務局	ニームスとは全く別です。組織全体で1500k1以上排出する組織は、事業者として計画が必要です。市も施設全体では1500k1以上排出するため、エネルギー管理企画推進者としての資格をとる（1人以上）必要があります。
部会長	基本計画の中の標記にある環境保全基金とは？
事務局	環境に関する事業全般を推進する基金です。市から毎年1千万円程度積み立て、市民からの寄付も募る予定です。3月議会に提案する運びです。
委員	基金には、協働事業も含むのか？ 環境自治体会議はいつあるのか？市民との協働に積極的に活かすべきである。
事務局	基金の中に含む方向で考えています。 環境自治体会議は、H23年5月に開催予定であり、市民との協働に活かしていきます。
委員	基本計画の中に環境学習とあるが、小学校なども学校あげて環境教育をしており、対象にすべきです。高齢者のみの学習ではなく、親子、三世帯で参加できるよう配慮すべき、新規検討事業に、青少年の環境教育を追加しては？
事務局	追加する方向で検討します。
事務局	【3. 全市民による3Rと地域環境美化の推進】 について (説 明)
部会長	第4次との相違は？不法投棄されるゴミの種類は？
事務局	4次とほとんど変わっていません。 不法投棄されるゴミは、あらゆる分野のゴミが不法投棄さ

	<p>れています。</p>
委員	<p>衣類等の資源化とは？ほとんどの衣類はリサイクル可能であり、集団回収を積極的に呼び掛けるべき。</p>
委員	<p>基本計画の中の新規検討事業に小学校への出前講座とあるが、市が行うのか。</p>
事務局	<p>原則として市が行いますが、事前に市民活動推進課に登録をしておけば、NPO団体等も可能で、現在も市民団体が登録いただいている。</p>
委員	<p>バイオマスの利用促進とあるが、具体的には？</p>
事務局	<p>「生ごみをたい肥化する」、「木くずを燃料にする」など。農協等との連携も必要と考えているが、具体的には、環境保全基金事業の開始以降にと考えている。</p>
委員	<p>新規検討事業の中に、不法投棄監視カメラの設置とあるが多額の経費がかかるのではないかと？高速道路側道は、大変暗いところが多く、不法投棄されていると思う。街路灯を増やす方が効率的ではないか？</p>
事務局	<p>明るくなっても、深夜の時間帯など、人が見ていなければ、結果は同じではないでしょうか？</p>
委員	<p>山間部に不法投棄されると、イノシシ被害の増大にもつながる可能性がある。</p>
委員	<p>山間部は不法投棄が多い。電灯設置もお金がかかる。私たちは地元で話し合っ、青色回転灯を配備した車で深夜の時間帯も交代で巡回している。交代勤務の方もおり、大変効率的に不法投棄が防止されていると思う。</p>
部会長	<p>どこかに、費用対効果の視点を入れる工夫を検討してほしい。</p>

事務局	【４．安全安心な生活空間の形成】 について (説 明)
部会長	第４次との相違は？
事務局	高齢化社会が進展し、社会弱者である高齢者の記述が増えている。第４次時の現状と課題から大きい主旨変更はないが、高齢化の進展に伴い、現状変更しています。
委員	取り組み方針の中で、防犯活動についての今後１０年、県内では、防犯に取り組む色：カラーを「青色」と決めている例が多い。カラーを青色に統一してほしい。異なった防犯に取り組む団体が、カラーを統一することで、市民からは、防犯活動に取り組む人数をより多く見せる工夫にもなるし、青色は、犯罪抑制に効果がある色である、とも言われている。
事務局	団体同士の差別化を図るために、別の色にしている団体もある。確かに、心理学的に「青色」が、心を落ち着かせる効果があると言われている。防犯に取り組む団体が、お互いに集まって意識統一する必要がある。 基本計画の新規検討事業の記述に、防犯カラーの選定・啓発を追加します。
部会長	基本計画の新規検討事業の空き家対策について、現在の実態分析は？具体的にどうするのか？
事務局	現状・実態については、部分的にしか把握していない。子どもの火遊びやいたずら防止、不審者の住みつきなど防犯上の問題。消防が所管する火災予防条例の関係。また、倒壊や雑草等による周囲への危険性、迷惑など。 高齢化や核家族化が要因と思われるが、問題解決には財産権、相続、税金等の問題が複雑に絡み支障が大きい。
委員	防災行政無線の整備とは？
事務局	来年度整備予定であり、別子山も含め、非常時に各公民館

委員	<p>と通信して、公民館のスピーカーで住民に放送することができるシステム。国からの情報（地震速報など）も、周知することが出来る。</p> <p>私たちの団体は、簡易無線で防犯情報をやり取りする中で、非常時にも有効活用できると思っている。市の防災訓練の時無線についても、協働で訓練項目に加えてほしい。</p>
委員	<p>防災訓練は、毎年同じことをやっている。消化主義になってしまっている傾向にあり、もっと積極的に一般参加者に効果的にアピールすべき。一日かけて体験してもらうとか、効果的な訓練実施の検討が必要である。</p>
副部会長	<p>10年くらい前に河川敷で自衛隊も参加した大きい防災訓練があった。何年かに一度、大規模の訓練も必要。ワイヤーカッターの使い方などの実習もあり、有事の際に活かすことができる訓練の実施を希望する。</p>
事務局	<p>以前は、毎年、順番に各小学校区で訓練実施していたものを、何年かに一度では効果がないため川西、川東、上部のブロック毎で頻繁に開催するようにした。実施方法については、みなさんのご意見を参考に検討していきます。</p>
事務局	<p>【5. 消防体制の充実】について (説 明)</p>
部会長	<p>第4次との相違は？</p>
事務局	<p>H20年9月に広域化計画が策定され、愛媛県で1つの消防組織を目指すよう検討しています。また、1年間の救急件数が10年前の3500件から4500件へと増加しており、救急時の医師不足も顕著になっています。</p>
委員	<p>取り組み方針の各項目は、全て経費が伴う。大丈夫なのか？</p>

事務局	消防車両の更新は定期的に必要であるし、施設の耐震化も必要に応じて実施しないといけない。また、人員定数も不可欠、特に4500件の救急に対する取り組みが必要で救命率を上げることが必要である。直接、市民の安全安心に関わることなのでしっかりと取り組んでいきたい。
部会長	協働のまちづくりのための取組の中で、事業者として、消防団への従業員の加入促進等に対する事業者の反応は？
事務局	住友関連企業は大変協力的です。その他の事業者も意識は大変高いと感じています。
	成果指標に消防団の充足率があるが、加入率は上がっているのか？
事務局	充足率は加入率に影響を受ける。別子山など、地域毎の団員数の見直しを行い、現状では定員枠に近づいている。定数とは、市条例で規定している。
委員	本部に女性消防団員は何人いるのか？年齢制限は有るのか？地元消防団員は何人いるのか？
事務局	本部には、現在30名いる。基準（内規）で、入団時には40才までの年齢制限を設けているが定年年齢は設けていない。なるべく長く務めてもらおうという考え。基準であり、変更は可能です。 地元消防団員については、大島に1人いるのみで、年齢制限は設けていない。 職員についても、将来的に、救命士など是非女性職員が必要だと考えています。
委員	活動指標の救急・救助出場件数で、高齢化が進んでいるのに、何故、年を追うごとに減少しているのか。
事務局	毎年、市民に対し救急救助講座を行っており、応急措置など、自らでできる市民が増えている。また、不急不要の11

	<p>9番も無くすよう啓発を行っており、これらを考慮した。なお、市政だよりやホームページで、広報・啓発を積極的に行っている。</p>
委員	<p>医師不足についてですが、上部地区の県病院には整形がない。この様な件は、当部会で協議する内容でしょうか？</p>
事務局	<p>申し訳ありませんが、保健福祉の分野になります。</p>
部会長	<p>基本計画の新規検討事業に、救急医療体制の整備を追加する方向で検討をお願いします。</p>
事務局	<p>【6. 消費者の自立支援と相談体制の充実】について (説 明)</p>
委員	<p>国が経費を賄ってくれる消費者行政活性化プログラムは、23年度までとなっているが、24年度以降はどうなるのか？</p>
事務局	<p>国が平成23年度まで、交付金で、市の消費者行政に関する新規事業経費を賄ってくれる予算は、自民党政権時の平成20年度第2次補正予算で可決された予算です。</p> <p>民主党主導の新政権になりましたが、民主党も地域の消費者行政に関する体制強化を極めて重要視しており、市財政当局も所管課も、24年度以降も国の姿勢は継続されるものと考えています。</p>
委員	<p>現在相談員は何名いるのか？</p> <p>また、基本計画の中の新規検討事業の中に、出前講座だけでなく、地域に出向いての出張相談を入れてほしい。</p>
事務局	<p>現在、相談員は2名、来年度は、消費者行政活性化プログラムで、国の交付金を利用し、1名増の3人を予定している。</p> <p>消費生活相談員は、消費生活アドバイザーなどの資格を取得することが必要であり、平成22年度の1年間は、現在の</p>

事務局	<p>相談員の傍で研修に励み、資格を取得することになる。</p> <p>地元に出向いての相談は、市まで足を運べない人に大変有効であり、10年間の計画の中で、出張相談を前向きに考えて行こうと思いますので、新規検討事業の中に追加します。</p> <p>(3) 次回の日程</p> <p>次回の会議については、年度が変わりますが、とりあえずの予定として4月5日(月)の開催予定といたします。</p>
-----	---